

日本災害情報学会第 31 回大会エクスカーショ
ン
1934 年室戸台風の記憶を辿る

日本災害情報学会 企画委員会 副委員長 永松伸吾
(関西大学社会安全学部 教授)

主旨 1934 年 9 月 21 日に近畿圏を襲った室戸台風では、校舎の倒壊が多数発生し多くの児童・教職員が犠牲になりました。現在の吹田市立豊津第一小学校はその一つであり、児童を守って殉職した 2 名の女性教員と児童の慰霊壇が現在も校舎内で祀られています。

気象予報業務開始から 150 年を迎える本年、当時の気象予報や台風の状況を振り返りながら、室戸台風災害について振り返ります。

日時 2025 年 11 月 7 日 (金)

プログラム (案)

15:00 江坂駅 (大阪市営地下鉄御堂筋線) 北口改札前集合

徒歩にて豊津第一小学校へ

正門前の慰霊碑を見学

15:30 講義 (多目的室)

15:30～15:35 ご挨拶 (西岡孝先生：吹田市立豊津第一小学校校長)

15:35～15:50 当時の気象予報について (津島俊介様：関西航空地方気象台予報官)

15:50～16:20 室戸台風のもたらした被害 (河田恵昭先生：関西大学特命教授・京都大学名誉教授・日本災害情報学会元会長)

16:20～17:10 横山・吉岡両先生について (有明志朗先生：前豊一小校長)

17:15 校長室内の祭壇の見学

17:30 解散

18:00～有志にて懇親会 (江坂)

定員：最大 30 名程度 (先着順)

参加申込：以下のフォームに記入をお願い致します。

<https://forms.cloud.microsoft/r/JsrsVFpdS2>